



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月24日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 野田 順弘
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 加納 博史
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3245-6510

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	37,226	4.1	14,541	8.4	16,207	7.4	10,298	—
24年3月期第3四半期	35,745	1.4	13,418	6.0	15,094	△2.6	△6,025	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 10,599百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △8,497百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1,093.19	—
24年3月期第3四半期	△639.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	139,148	122,590	88.1	13,051.66
24年3月期	131,741	116,031	88.1	12,315.01

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 122,590百万円 24年3月期 116,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	175.00	—	175.00	350.00
25年3月期	—	200.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	250.00	450.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 25年3月期(予想)の期末配当金には創立45周年の記念配当50円00銭を含んでおります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	4.3	19,000	6.2	21,000	4.5	13,500	—	1,432.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	9,960,000 株	24年3月期	9,960,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	567,259 株	24年3月期	538,049 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	9,420,630 株	24年3月期3Q	9,421,951 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年4月25日発表の通期連結業績を修正しておりません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等による内需が堅調に推移しつつも、米国経済は個人消費を中心に回復する一方で欧州の債務問題は依然として不確実性が高く、さらに中国経済の成長鈍化から輸出の減少幅が拡大しており、円高の状態が続いていました。しかし12月の政権交代を契機に円安傾向が加速したことで輸出企業の収益の改善が見込まれ、不透明ながらも景気の回復への期待は高まっています。

当情報サービス業界においても、企業のシステム投資に対する姿勢には依然として慎重さがみられ、厳しいビジネス環境が続いております。このような環境の中で、企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、営業とシステムエンジニアが一体となってビジネスに対応する製販一体体制を強化するとともに、社員一人ひとりの成長を目指した社員教育に注力することで提案力の強化・生産性の向上を図り、顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。

当社の主力である基幹系統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計情報システムを中心に販売・生産情報システムなどが様々な業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が好調に推移しています。業種・業務別のソリューションでは、金融機関向けの不動産担保評価・管理システムや信用リスク管理ソリューション、そして案件ごとの進捗管理や採算管理が可能なプロジェクト別採算管理システムなどが幅広く求められました。また、採算性の良いシステムサポート事業が安定的に伸長し、業績に寄与いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高372億26百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益145億41百万円(同8.4%増)、経常利益は162億7百万円(同7.4%増)、四半期純利益は102億98百万円(前年同期は60億25百万円の四半期純損失)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

製販一体での直接販売によって、リソースを意識しつつ、幅広いニーズを捉える顧客満足度の高い提案活動を続けております。その結果、主力の基幹系統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に、販売・生産情報システムなどが様々な業種の企業で求められております。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が好調に推移しています。業種・業務別のソリューションにおいては、金融機関向けの不動産担保評価・管理システムなどが堅調に推移いたしました。一方、ハードウェアの販売は減少しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、228億85百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は88億28百万円(同9.0%増)となりました。

(B) システムサポート事業

当社の主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」が順調に伸長しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、102億40百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は52億66百万円(同8.2%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

景況感の不透明さから中小企業の設備投資が低迷する中、引き続き、付加価値の高い業務用パッケージソフトの提案に注力しております。また、印刷サプライや家具などのオフィス用品の販売が堅調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、41億円(前年同期比2.4%増)、営業利益は4億45百万円(同1.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は474億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ、77億91百万円増加いたしました。各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動の結果増加した資金は、125億86百万円であります。これは主に、税金等調整前四半期純利益が158億29百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が18億92百万円計上された一方で、法人税等の支払48億48百万円が発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動の結果減少した資金は、7億54百万円であります。これは主に有形固定資産の取得・売却により90百万円減少したことと、投資有価証券の購入・売却により6億61百万円減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動の結果減少した資金は、40億40百万円であります。これは配当金の支払35億33百万円及び自己株式の取得による支出5億7百万円によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、豊富な受注残を確保しながら業績のオペレーションを行っております。主力であるシステムインテグレーション事業では、約6ヶ月の受注残の確保を目標としておりますが、当第3四半期連結会計期間末現在、概ね目標どおりの受注残を保有しており、業績は予定通り推移しております。よって、平成24年4月25日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,609	48,401
受取手形及び売掛金	7,285	6,525
有価証券	—	999
商品及び製品	93	89
仕掛品	614	640
原材料及び貯蔵品	79	46
その他	2,466	1,368
貸倒引当金	△12	△10
流動資産合計	52,136	58,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,650	3,537
土地	26,943	26,942
その他(純額)	333	302
有形固定資産合計	30,927	30,781
無形固定資産		
その他	66	57
無形固定資産合計	66	57
投資その他の資産		
投資有価証券	43,213	44,384
その他	5,402	5,866
貸倒引当金	△5	△3
投資その他の資産合計	48,610	50,247
固定資産合計	79,605	81,086
資産合計	131,741	139,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,847	3,073
未払法人税等	2,125	3,012
賞与引当金	2,162	1,380
役員賞与引当金	38	—
その他	3,277	3,648
流動負債合計	10,450	11,113
固定負債		
退職給付引当金	4,434	4,651
役員退職慰労引当金	689	657
資産除去債務	125	127
その他	9	7
固定負債合計	5,258	5,443
負債合計	15,709	16,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	88,486	95,251
自己株式	△9,792	△10,299
株主資本合計	117,403	123,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379	680
土地再評価差額金	△1,751	△1,751
その他の包括利益累計額合計	△1,371	△1,070
純資産合計	116,031	122,590
負債純資産合計	131,741	139,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	35,745	37,226
売上原価	14,741	14,904
売上総利益	21,004	22,321
販売費及び一般管理費	7,586	7,780
営業利益	13,418	14,541
営業外収益		
受取利息	315	15
受取配当金	242	354
投資有価証券売却益	5	10
持分法による投資利益	1,083	1,244
受取賃貸料	61	64
その他	59	69
営業外収益合計	1,766	1,759
営業外費用		
賃貸費用	85	85
その他	5	8
営業外費用合計	90	93
経常利益	15,094	16,207
特別利益		
固定資産売却益	395	0
特別利益合計	395	0
特別損失		
固定資産売却損	18	0
固定資産除却損	1	5
投資有価証券評価損	15,000	370
貸倒損失	1,339	—
その他	0	1
特別損失合計	16,360	378
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△871	15,829
法人税、住民税及び事業税	5,125	5,739
法人税等調整額	27	△208
法人税等合計	5,153	5,531
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△6,025	10,298
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,025	10,298

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,025	10,298
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,323	△87
土地再評価差額金	0	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,149	388
その他の包括利益合計	△2,472	301
四半期包括利益	△8,497	10,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,497	10,599
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△871	15,829
減価償却費	270	240
持分法による投資損益(△は益)	△1,083	△1,244
投資有価証券評価損益(△は益)	15,000	370
退職給付引当金の増減額(△は減少)	98	216
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	34	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,130	△781
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△38
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△3
受取利息及び受取配当金	△557	△370
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	△10
固定資産売却損益(△は益)	△376	△0
固定資産除却損	1	5
貸倒損失	1,339	—
売上債権の増減額(△は増加)	875	759
たな卸資産の増減額(△は増加)	△154	10
仕入債務の増減額(△は減少)	△351	226
その他	612	363
小計	13,667	15,541
利息及び配当金の受取額	1,704	1,892
法人税等の支払額	△7,403	△4,848
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,967	12,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,250	△690
投資有価証券の売却による収入	40	28
有形固定資産の取得による支出	△85	△92
有形固定資産の売却による収入	540	1
無形固定資産の取得による支出	△20	△2
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,774	△754
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,297	△3,533
自己株式の取得による支出	—	△507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,297	△4,040
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,895	7,791
現金及び現金同等物の期首残高	34,754	39,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,649	47,401

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①販売実績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
システムインテグレーション事業	22,014	61.6	22,885	61.5	870
システムサポート事業	9,728	27.2	10,240	27.5	512
オフィスオートメーション事業	4,002	11.2	4,100	11.0	97
合 計	35,745	100.0	37,226	100.0	1,480

②受注実績及び受注残高

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増 減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システムインテグレーション事業	22,794	15,622	23,231	15,932	437	310
システムサポート事業	10,668	18,088	11,170	18,445	501	357
オフィスオートメーション事業	3,992	613	4,151	645	158	32
合 計	37,455	34,323	38,553	35,024	1,097	700